



水虫

水虫は、カビ(真菌)の一種である^{はくせんきん}白癬菌に足(や手)が感染して起こる皮膚病です。白癬菌は高温多湿を好むため、梅雨～夏～秋口にかけて症状が出やすくなります。



水虫のタイプと症状 ～ 水虫のタイプは、4種類あります。

小水疱(しょうすいほう)型	足の裏や側面に赤い小さな水泡がいくつもできる。かゆいことが多い。
趾間(しかん)型	足の指と指の間の皮膚がむけ、ただれたり、ひび割れたりする。湿っぽく、かゆいことが多い。
角化(かくか)型	足の裏、特に、かかとが硬くなり、皮が白くめくれたり、ひび割れたりする。カサカサしている。かゆみはあまりない。
爪の水虫 (爪白癬 つめはくせん)	爪の中に菌が入り、爪の中、爪の下の皮膚にできる。爪が白く濁って厚くなり、もろくぼろぼろになることもある。治りにくい。



日常生活での注意点 ～ 足の乾燥と清潔、感染予防につとめましょう。

乾燥	<ul style="list-style-type: none"> 素足で過ごすなど、足の通気性を保ちましょう。 靴を履いている時間をなるべく短くしましょう。 靴は通気性の良いものを選ぶとよいでしょう。 こまめに靴を干すようにしましょう。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 指の間、足の裏、かかと、土踏まずをやさしく丁寧に洗いましょう。
感染予防	<ul style="list-style-type: none"> 家族に水虫の患者さんがいる場合、一緒に治療しましょう。 バスマットや、サンダル・スリッパ等は共有しないようにしましょう。



水虫の薬

塗り薬の他に飲み薬もあります。また、病院からの処方してもらう薬(医療用医薬品)以外にも、処方せんなしで買える薬(OTC 医薬品)もあります。

	代表的な薬の名前	注意点など
塗り薬 (クリーム、軟膏、液体、スプレー)	<医療用>ラミシール、ニゾラル、マイコスポール、アスタット、ペキロン、アトラント、ボレー、など	<ul style="list-style-type: none"> 根気よく塗り続けることが大切です。見た目やかゆみ等の症状が良くなっても、皮膚の深部に菌が残っている場合があります。医師の指示通りに使用を続けましょう。 OTC は症状が治まっても少なくとも4週間は続けましょう。良くならない場合は病院へ。 患部だけでなく、周辺部分も含めて広い範囲に塗りましょう。
	<OTC>ウインダム、ダマリンエース、ラミシール AT、ダマリングランデ、アトラントエース、ブテナロック、スコルバダッシュ、など	
飲み薬	<医療用> イトリゾール、ラミシールなど	<ul style="list-style-type: none"> 塗り薬だけでは効かない場合などに服用します。 飲み合わせの悪い薬や、肝臓への副作用が起こる場合などもありますので、医師や薬剤師とよく相談しながら服用を続けましょう。

*ここで挙げた薬は水虫以外に使われる場合もあります。